

Polish Posters for Films



Polskie plakaty filmowe

日本・ポーランド国交樹立100周年記念

展覧会

ポーランドの映画ポスター

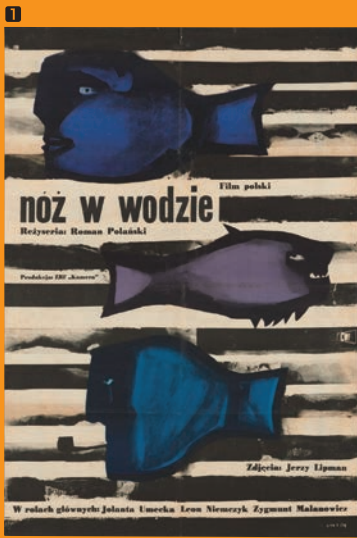
2019 12.13(金) → 2020 3.8(日) 国立映画アーカイブ展示室 (7階)

会期中に一部展示替えがあります。
月曜日、12月28日(土)～1月3日(金)は休室です。

開室時間：午前11時～午後6時30分(入室は午後6時まで)
*毎月末の金曜日のみ開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)
料金：一般250円(200円) / 大学生130円(60円) / シニア、高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、
国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料
*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。
*()内は20名以上の団体料金です。 *学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。
*国立映画アーカイブの上映観覧券(観覧後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。
主催：国立映画アーカイブ、京都国立近代美術館
後援：駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター 協力：アダム・ミツキエヴィチ・インスティテュート
国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp/
Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR Instagram: nationalfilmarchiveofjapan

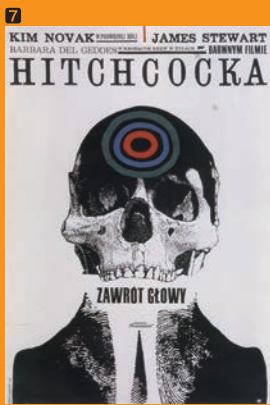
映画を残す、映画を活かす。
国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan





1 2 3 4

第1章 ポーランド映画のポスター 第2章 日本映画のポスター 第3章 世界各国の映画のポスター



第二次世界大戦の終結以来、コミュニズムの道を歩むこととなったポーランドにあって、1950年代の中期から社会主義リアリズムを脱却し、新世代のアーティストによる自由な表現がもっとも推し進められたのが映画とグラフィック・デザインという二つの分野でした。アンジェイ・ワイダやエジ・カヴァレロヴィチなどの監督を世界に知らしめた映画界、そして表現の斬新さで国際的に注目されたポスター芸術、その両方に「ポーランド派」という呼び名が与えられました。なかでも映画ポスターにおいてはロマン・チェシレヴィチ、ヤン・ムウドジェニェツなどの抜きん出たデザイナーたちが活躍し、映画から受けたインスピレーションを、隠喩に満ちた自在な表現へと実らせました。

本展覧会では、国立映画アーカイブと京都国立近代美術館の共催により、日本とポーランドの国交樹立100年を記念する企画として、1950年代後半から1990年代前半までに制作された、国立映画アーカイブ所蔵品を中心とする96点の映画ポスターを紹介します。ポーランド映画のポスターはもちろん、ヨーロッパ各国の作品やアメリカ映画、さらには日本映画のポスターにもご注目いただき、映画とグラフィックの出会いから生まれる、時に優美で、また時には緊張を湛えたポスターアートの数々をご堪能ください。

In the years following World War II, Poland was firmly on the path of communism. However, two fields—film and graphic design—made a break from socialist realism in the mid-1950s and, led by a new generation of artists, attained the Polish art world's highest level of free expression. On the one hand was Poland's film industry, which gave the world such directors as Andrzej Wajda and Jerzy Kawalerowicz. And on the other was the nation's poster art, which attracted international attention for its original forms of expression. Both were given the name Polish School. It was during this time that Roman Ciešlewicz, Jan Młodożeniec, and other preeminent designers made their mark in film poster art by rendering inspirations they received from cinema into works of free expression brimming with metaphor.

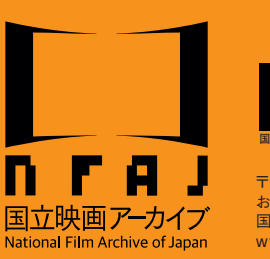
This exhibition was co-organized by the National Film Archive of Japan (NFAJ) and The National Museum of Modern Art, Kyoto (MOMAK), to commemorate the centennial of diplomatic relations between Japan and Poland. It presents 96 posters, many of which are in the NFAJ's collection, that were produced between the late 1950s and early 1990s. We hope the exhibition will draw attention to the posters of Polish films as well as to those of European nations, the United States, and Japan. Take some time to absorb and appreciate the numerous works presented—some elegant, and some radiating with tension—that were born from the encounter between film and graphic art.

トークイベント	12月13日 金	開会記念講演	ダグナ・キドン氏(ウッチ映画大学)
詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。	3月7日 土	展示品解説	岡田秀則(当館主任研究員)

- 1 『水の中のナイフ』(1962年/ポーランド/ロマン・ポランスキ監督) ポスター:ヤン・レニツァ(1962年) 国
 - 2 『イルミネーション』(1973年/ポーランド/クシシュトフ・ザヌシ監督) ポスター:フランシシェク・スタロヴィエイスキ(1973年) 国
 - 3 『姿三四郎』(1965年/日本/内川清一郎監督) ポスター:エジ・フリサク(1971年) 国
 - 4 『就職』(1961年/イタリア/エルマン・オルミ監督) ポスター:ヴァルデル・シフエジ(1964年) 国 [前期のみ]
 - 5 『ダントン』(1983年/フランス=ポーランド/アンジェイ・ワイダ監督) ポスター:ヴェスワフ・ヴァウクスキ(1993年) 国 [前期のみ]
 - 6 『美しさと哀しみと』(1965年/日本/篠田正浩監督) ポスター:マチェイ・ヒババル(1967年) 国
 - 7 『めまい』(1958年/アメリカ/アルフレッド・ヒッチコック監督) ポスター:ロマン・チェシレヴィチ(1963年) 国 [後期のみ]
 - 8 『地下鉄のザン』(1960年/フランス/ルイ・マル監督) ポスター:ヨランダ・カルチエフスカ(1968年) 国
 - 9 『醜い奴、汚い奴、悪い奴』(1976年/イタリア/エットレスコーラ監督) ポスター:エジ・フリサク(1978年) 国
 - 10 『ノスタルジア』(1983年/イタリア=ソ連/アンドレイ・タルコフスキー監督) ポスター:スタニス・エイドリグヴィチウス(1989年) 国 [前期のみ]
- 国 武蔵野美術大学 美術館・図書館所蔵 国 神奈川県立近代美術館所蔵 国 川喜多記念映画文化財団所蔵 国 アットワンダー所蔵 国 国立映画アーカイブ所蔵
 前期展示:12月13日(金)~1月26日(日) 後期展示:1月28日(火)~3月8日(日) 国 17 @ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 G1994

ポーランド映画祭2019 11月10日(日)~11月23日(土) 国 http://www.polandfilmfes.com/
 東京都写真美術館ホールにて開催 (東京都写真美術館 TEL.03-3280-0099(代表) www.topmuseum.jp)

巡回先 2020年3月17日(火)~5月10日(日) 国 京都国立近代美術館(4階コレクションギャラリー)



長瀬映像文化財団
 国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。
 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
 お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600
 国立映画アーカイブホームページ
 www.nfaj.go.jp



交通
 ▶東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
 ▶都営地下鉄浅草線本町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
 ▶東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
 ▶JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分